

富山眼科集談会, 1983, 7, 富山.

24) 田中良則, 山本文昭, 山田祐司: 光凝固により著明な視力改善を示した網膜細動脈瘤の1例. 第264回金沢眼科集談会, 1983, 4, 金沢.

25) 田中良則, 山下 泉, 山田祐司, 窪田靖夫: 12才女子にみられた Optic pit の1例. 第7回富山眼科集談会, 1983, 7, 富山.

26) 田中良則, 中村泰久, 遠藤俊郎, 岡 伸夫, 北川正信, 三輪淳夫: 頭蓋内進展を認めた眼窩内 paraganglioma の1例. 第49回日本中部眼科学会 1983, 11, 岐阜.

27) 田中良則, 桶本忠司, 窪田叔子: 長期装用ソフトコンタクトレンズの使用経験, 第8回富山眼科集談会, 1983, 12, 富山.

28) 石田俊郎, 中村泰久: 富山医科薬科大学眼科眼窩疾患外来における統計的観察. 第36回北陸医学社会総会, 1983, 9, 金沢.

29) 石田俊郎, 山田祐司, 開 繁義, 中村泰久: 高速液体クロマトグラフィーによる涙液内抗生剤移行濃度の測定. 第53回九州眼科学会, 1983, 6, 福岡.

30) 石田俊郎, 将積日出夫: めまい患者における眼底血圧測定結果, 第8回富山眼科集談会, 1983, 12, 富山.

31) 浅香猶子, 中屋 博, 三輪淳夫: 著明な網膜血管新生と硝子体出血をきたしたサルコイドーシスの1症例. 第7回富山眼科集談会, 1983, 7, 富山.

32) 浅香猶子, 窪田叔子, 木村通郎: アレルギー性結膜疾患における蛍光抗体の分布について. 第8回富山眼科集談会, 1983, 12, 富山.

33) 田畑 晃, 石田俊郎: 黄斑円孔の他眼の経過観察. 第2回金沢医科大学眼科研究会. 1983, 11, 金沢.

◆ 著 書

1) 渡辺行雄: ENG 検査へのコンピュータの導入. 「めまい・臨床の基礎」鈴木淳一編, 155-176, 現代医療社, 1983.

◆ 原 著

1) Mizukoshi K., Kobayashi H., Ohashi N. and Watanabe Y.: Quantitative analysis of the human visual vestibulo-ocular reflex in sinusoidal rotation. *Acta Otolaryngol. Suppl.* **393**: 58-64, 1983.

2) Mizukoshi K., Watanabe Y., Watanabe I., Okubo J., Matsunaga To., Matsunaga Ta., Takayasu S., Kato I. and Tanaka T.: Subjective and objective evaluation of medical treatment in Meniere's disease. -With special reference to dose response for adenosine triphosphate. *Adv. Oto-Rhino-Laryng.* **30**: 355-361, 1983.

3) Watanabe Y., Ohashi N., Kobayashi H., Takeda S. and Mizukoshi K.: Computer analysis of electronystagmography recordings in routine equilibrium examinations. *Adv. Oto-Rhino-Laryng.* **30**: 187-192, 1983.

4) Mizukoshi K., Watanabe Y., Ohashi N. and Kobayashi H.: Effects of pendular optokinetic stimulation on the center of gravity during the Romberg test. *Agressologie* **24**: 79-80, 1983.

5) Mizukoshi K.: Quantitative assessment of visual-vestibular interaction using sinusoidal rotation in patients with vertigo. Abstracts, Fifth Asia-Oceania Congress of ORL Societies, 62, 1983.

6) Ohashi N., Watanabe Y., Kobayashi H. and Mizukoshi K.: Quantitative analysis of smooth pursuit eye movements using continuously changing sinusoidal waves. Abstracts, Fifth Asia Oceania Congress of ORL Societies, 245, 1983.

7) 水越鉄理, 渡辺 勉, 松永 亨, 桧 学, 小松崎篤, 高安助次, 時田 喬, 松永 喬, 草刈 潤, 加藤 功, 中野雄一, 石川和光, 鈴木淳一, 石井哲夫, 大久保 仁, 徳増厚二, 香取早苗, 武藤二郎, 北村博之, 渡辺行雄, 原田康夫, 田頭宣治, 牛尾信也, 調 重昭, 荻野 仁, 酒井国男, 浅井英世, 田中恒雄, 鬼武一夫, 菅田勝也: 末梢性耳性めまいに対する adenosine triphosphate の臨床評価—多

耳 鼻 咽 喉 科 学

教 授	水 越 鉄 理
助 教 授	渡 辺 行 雄
講 師	大 橋 直 樹
助 手	小 林 英 人
助 手	麻 生 伸
助 手	吉 田 行 夫
助 手	中 川 肇
助 手	大 井 秀 哉
助 手	浅 井 正 嗣
文部技官	武 田 精 一

施設二重盲検法による betahistine mesylate との比較。医学のあゆみ 126: 988-1010, 1983.

8) 水越鉄理, 将積日出夫, 浅井正嗣, 大井秀哉, 渡辺行雄, 大橋直樹: 富山県におけるメニエール病患者の疫学調査. 耳鼻臨床 76: 2215-2220, 1983.

9) 水越鉄理, 小林英人, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫, 浅井正嗣: 末梢性前庭機能異常例にみられた視運動性前庭動眼反射の異常. 耳鼻臨床 76: 2393-2440, 1983.

10) 渡辺行雄, 大井秀哉, 沢 昌代, 大橋直樹, 小林英人, 水越鉄理: 前庭機能異常例における Galvanic Body-Sway Test (GBST) の所見. 耳鼻臨床 76: 2401-2406, 1983.

11) 渡辺 勉, 水越鉄理, 大久保 仁, 池田元久, 渡辺行雄: 前庭機能異常に関する疫学調査報告, 個人調査票集計を中心に. 耳鼻臨床 76: 2426-2457, 1983.

12) 野末道彦, 峯田周幸, 中川 肇, 芹沢泰博, 藤川和成, 森 泰雄: 前庭神経炎の臨床的研究. 耳鼻臨床 76: 2363-2367, 1983.

13) 麻生 伸, 青柳 優, 和田広己, 加藤 功, 小池吉郎: 中枢神経障害における聴性脳幹反応. 耳鼻臨床 75: 2143-2154, 1982.

14) 小林英人, 大野吉昭, 渡辺行雄, 大橋直樹, 吉田行夫, 水越鉄理: 慢性関節リウマチ患者のインピーダンスオージオメトリー, Tympanogram 所見を中心にして. 耳喉科 55: 377-381, 1983.

15) 中川 肇, 藤川和成, 芹沢泰博, 森 泰雄, 石田正人, 白石輝雄: NLA 変法麻酔の鼻副鼻腔手術への応用. 耳喉科 55: 503-508, 1983.

16) 渡辺行雄, 伊藤亨子, 水越鉄理: 眼振所見からみためまい・平衡障害の診断. 耳鼻臨床 76: 3153-3157, 1983.

17) 大野吉昭: 感音難聴と音響性アブミ骨筋反射測定. 耳鼻臨床 76: 3098-3103, 1983.

18) 大橋直樹, 渡辺行雄, 小林英人, 麻生 伸, 吉田行夫, 大野吉昭, 水越鉄理: Cisplatin が有効であった下咽頭腫瘍の 1 例. 耳鼻臨床 76: 1767-1772, 1983.

19) 中川 肇, 市村恵一: Dubowitz 症候群と思われる 1 症例. 耳喉科 55: 27-30, 1983.

20) 市村恵一, 矢野 純, 峯田周幸, 芹沢泰博, 中川 肇, 藤川和成, 森 泰雄, 星野知之, 野末道彦, 岡 良己, 長井大二: 頭頸部悪性腫瘍症例に対する SPG の投与効果. 耳鼻 29: 12-16, 1983.

21) 麻生 伸, 大井秀哉, 武田精一, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 蝸电图によるグリセロール・

テストの試み. Audiology Japan 26: 549-550, 1983.

22) 大井秀哉, 麻生 伸, 武田精一, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: ABR の骨導域値の測定の試み. Audiology Japan 26: 495-496, 1983.

23) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大野吉昭, 麻生 伸, 吉田行夫: メニエール病に対するグリセロール静注試験の効果について. 臨床耳科 10: 90-91, 1983.

24) 麻生 伸, 大野吉昭, 吉田行夫, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 水越鉄理: 一側性内耳奇型の検討. 臨床耳科 10: 32-33, 1983.

25) 五十嵐秀一, 小出千秋, 松本好弘, 中野雄一, 渡辺行雄: 衝動性眼球運動の速度パターンの検討ー正常所見と異常所見の比較検討ーEquilibrium Res. 42: 68-72, 1983.

26) 将積日出夫, 大井秀哉, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 井上雄吉: Pseudo-Thalamic Syndrome を呈した橋背部出血の一症例. Equilibrium Res. 42: 68-72, 1983.

27) 小泉富美朝, 渡辺行雄, 小林英人: 習慣性扁桃炎の病理組織学的検討. 日扁桃誌 22: 5-9, 1983.

28) 和田広己, 青柳 優, 小池吉郎, 麻生 伸: 周波数特異刺激 (tone pip) による ABR 他覚的聴力検査. Audiology Japan 26: 475-496, 1983.

29) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 沢 昌代, 水越鉄理: Galvanic Body Sway Test (GBST) の基礎的および臨床的研究. 日耳鼻 86: 1098, 1983.

30) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫: 平衡障害における視運動性前庭性動眼反射の臨床的意義. 日耳鼻 86: 1107, 1983.

31) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 大井秀哉: マイコン制御による総合的視刺激検査の臨床的研究. 日耳鼻 86: 1301, 1983.

32) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大井秀哉, 沢 昌代, 大橋直樹, 小林英人: 前庭機能異常例における Galvanic Body Sway Test (GBST) の所見. 前庭機能異常調査研究班昭和57年度報告書 243-248, 1983.

33) 水越鉄理, 将積日出夫, 浅井正嗣, 大井秀哉, 渡辺行雄, 大橋直樹: 富山県におけるメニエール病患者の疫学調査. 前庭機能異常調査研究班昭和57年度報告書 57-62, 1983.

34) 水越鉄理, 小林英人, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫, 浅井正嗣: 末梢性前庭機能異常例にみ

られた視運動性前庭動眼反射の異常、前庭機能異常調査研究班昭和57年度報告書 243-248, 1983.

35) 渡辺 勉, 水越鉄理, 大久保 仁, 池田元久, 渡辺行雄: 前庭機能異常に関する疫学調査報告—個人調査票を中心に—, 前庭機能異常調査研究班昭和57年度報告書 268-299, 1983.

36) 野末道彦, 峯田周幸, 中川 肇, 芹沢泰博, 藤川和成, 森 泰雄: 前庭神経炎の臨床的検討. 前庭機能異常調査研究班昭和57年度報告書 205-209, 1983.

37) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 沢 昌代: Galvanic Body Sway Test による末梢中枢前庭系障害の鑑別. 昭和57年度水俣病に関する総合研究班報告書, 日本公衆衛生協会 128-130, 1983.

38) 渡辺行雄, 大野吉昭, 大橋直樹, 小林英人, 水越鉄理: 耳鼻咽喉科領域における Piperacillin, Hydrocortisone の局所治療経験. 診療と新薬 20: 171-175, 1983.

39) 渡辺行雄, 大橋直樹, 今村純一, 水越鉄理: メニエール病疫学調査集計および平衡機能検査登録の経験. 第7回 ME 学会病歴データベース研究会資料 1-11, 1983.

40) 渡辺行雄, 大橋直樹, 今村純一, 水越鉄理: 平衡機能検査の自動分析システム. 第3回医療情報学会論文集 491-492, 1983.

41) 武田精一, 麻生 伸, 大井秀哉, 今村純一, 大橋直樹, 渡辺行雄: 聴性誘発反応検査へのパソコンの応用. 第3回医療情報学会論文集 493-496, 1983.

42) 今村純一, 渡辺行雄: ミニコンとマイコンを接続したマルチ・タスクによる検査管理システム. 第3回医療情報学会論文集 171-174, 1983.

43) 大橋直樹, 武田精一, 今村純一, 渡辺行雄, 水越鉄理: マイコン制御による滑動性眼運動分析. 第3回医療情報学会論文集 463-466, 1983.

44) 武田精一, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: Schellong's test の自動測定システム. 医用電子と生体工学 21: 107-108, 1983.

45) 大橋直樹, 吉田行夫, 将積日出夫, 小林英人, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理, 肥田高嶺: 上顎洞に発生した malignant fibrous histiocytoma の2例. 医薬の門 26: 270-271, 1983.

46) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 将積日出夫, 水越鉄理, 大野吉昭: 上顎末期腫瘍に対する YAG レーザーの使用経験. 医薬の門 26: 272-273, 1983.

◆ 総 説

1) 水越鉄理: 水俣病の総合研究. 研究成果の総括と展望. 5. 耳鼻咽喉科研究. 昭和57年度水俣病に関する総合研究班報告書, 日本公衆衛生協会 24-28, 1983.

2) 水越鉄理: 職業性難聴. とやま県医報 867, 26-27, 1983.

◆ 学会報告

1) Mizukoshi K., Kobayashi H., Ohashi N. and Watanabe Y.: Quantitative analysis of the visual vestibulo-ocular reflex using sinusoidal rotation in patients with peripheral vestibular disorders. Barany Society Meeting, 1983, 6, Uppsala.

2) Mizukoshi K.: Quantitative assessment of visual-vestibular interaction using sinusoidal rotation in patients with vertigo. Symposium 5: Pathophysiology of Vertigo. The Fifth Asia-Oceania Congress of ORL Societies, 1983, 10, Seoul.

3) Ohashi N., Watanabe Y., Kobayashi H. and Mizukoshi K.: Quantitative analysis of smooth pursuit eye movement using continuously changing sinusoidal waves. The Fifth Asia-Oceania Congress of ORL Societies, 1983, 10, Seoul.

4) Watanabe Y., Ohi H., Sawa M., Ohashi N. and Mizukoshi K.: Clinical findings of galvanic body-sway tests in cases with vestibular disorders. The VIIth International Symposium: Vestibular and Visual Control on Posture and Locomotor Equilibrium, 1983, 12, Houston.

5) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 大井秀哉: マイコン制御による総合的視刺激検査の臨床的研究(ビデオ演題). 第84回日耳鼻総会, 1983, 5, 大阪.

6) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 沢 昌代, 水越鉄理: Galvanic Body Sway Test の基礎的および臨床的研究, 第84回日耳鼻総会, 1983, 5, 大阪.

7) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹: 平衡障害における視運動性前庭性動眼反射の臨床的意義. 第84回日耳鼻総会, 1983, 5, 大阪.

8) 峯田周幸, 坂神伸子, 野沢 理, 中川 肇, 中村香菜江, 野末道彦: 典型的 opsoclonus を呈した小脳脳幹炎の一例. 第84回日耳鼻総会, 1983, 5, 大阪.

9) 浅井正嗣, 将積日出夫, 大井秀哉, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹: 富山県におけるメニエール病患者の実態的調査. 第231回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 3, 金沢.

10) 将積日出夫, 小林英人, 浅井正嗣, 大井秀哉, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 末梢前庭機能異常例にみられた視運動性前庭動眼反射の異常. 第231回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 3, 金沢.

11) 大井秀哉, 麻生 伸, 吉田行夫, 水越鉄理: 聴性脳幹反応におけるマスキングの影響. 第231回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 3, 金沢.

12) 中川 肇, 石田正人, 白石輝雄: NLA 変法麻酔の鼻副鼻腔手術への応用. 第232回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 6, 金沢.

13) 大井秀哉, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 浅井正嗣, 水越鉄理: Galvanic body-sway test の臨床的意義について. 第232回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 6, 金沢.

14) 黒川泰資, 今村純一, 小林英人, 麻生 伸, 水越鉄理, 江塚 勇: 周期性方向交代性眼振を示した小脳橋角部腫瘍. 第233回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 9, 金沢.

15) 長崎孝敏, 上田晋介, 中川 肇, 大井秀哉, 浅井正嗣, 大橋直樹, 渡辺行雄: 皮膚疾患と慢性扁桃炎. 第233回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 9, 金沢.

16) 渋谷知子, 大村明彦, 浅井正嗣, 大井秀哉, 将積日出夫, 中川 肇, 渡辺行雄, 水越鉄理: 慢性扁桃炎の手術適応の問題点. 第233回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 9, 金沢.

17) 大村明彦, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 水越鉄理: 星印ランダム刺激による視運動性眼振について (線条刺激との比較を中心に). 第234回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 12, 金沢.

18) 今村純一, 吉田行夫, 麻生 伸, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄: 高度の喉頭偏位をきたした下咽頭嚢腫の1例. 第234回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 12, 金沢.

19) 上田晋介, 大橋直樹, 浅井正嗣, 今村純一, 渡辺行雄, 水越鉄理: CO₂ レーザーの挿管チューブに対する安全性の検討 (ビデオ). 第234回日耳鼻北陸地方連合会, 1983, 12, 金沢.

20) 中川 肇, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 浅井正嗣, 水越鉄理: 高年齢にみられためまい・平衡障害例の実態. 第21回日耳鼻中部地方連合会, 1983, 7, 新潟.

21) 将積日出夫, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹,

小林英人, 水越鉄理: 富山県におけるメニエール病の疫学調査 (第2報). 第21回日耳鼻中部地方連合会, 1983, 7, 新潟.

22) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人, 沢 昌代, 大井秀哉: 前庭系障害における Galvanic Body Sway Test (GBST) の所見について. 第16回日耳鼻新潟県地方部会, 1983, 6, 新発田.

23) 渡辺行雄, 浅井正嗣, 水越鉄理: 重心動揺検査の診断的意義について—他の平衡機能検査との対比を中心に—. 第17回日耳鼻新潟県地方部会, 1983, 12, 新潟.

24) 水越鉄理, 将積日出夫, 浅井正嗣, 大井秀哉, 長崎孝敏, 黒川泰資, 渡辺行雄, 大橋直樹: 富山県におけるメニエール病の疫学調査研究. 第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9, 弘前.

25) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人, 沢昌代: 重心動揺記録における XY 軸成分の波形分析とその臨床応用について. 第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9, 弘前.

26) 浅井正嗣, 大橋直樹, 渡辺行雄, 将積日出夫, 小林英人, 水越鉄理: 重心動揺検査と他の平衡機能検査の相関関係について. 第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9, 弘前.

27) 山崎晴子, 五十嵐秀一, 渡辺行雄, 水越鉄理: カロリックテストを判定するパラメータの検討. 第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9, 弘前.

28) 山本文昭, 佐藤 悠, 将積日出夫, 川崎 匡: 眼球運動に関連したネコ小脳片葉の機能的局在. 第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9, 弘前.

29) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫: 視運動性前庭性動眼反射と中枢性平衡障害. 第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9, 弘前.

30) 将積日出夫, 浅井正嗣, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: めまいと血圧—Schellong test の再検討—. 第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9, 弘前.

31) 大村明彦, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 水越鉄理: 線条刺激と星印ランダム刺激による視運動眼振反応の差異について. 第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9, 弘前.

32) 大橋直樹, 渡辺行雄, 小林英人, 武田精一, 水越鉄理: 滑動性眼運動の定量分析 (最大速度, 最大加速度での検討). 第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9, 弘前.

33) 沢 昌代, 渡辺行雄, 大橋直樹, 水越鉄理: Galvanic Body Sway Test (GBST) の刺激方式に関する研究. 第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9,

弘前。

34) 中川 肇, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 浅井正嗣, 水越鉄理, 石黒千代子: 高令者にみられためまい・平衡障害例の臨床統計。第42回日本平衡神経科学会, 1983, 9, 弘前。

35) 麻生 伸, 大井秀哉, 武田精一, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 蝸電図によるグリセロールテストの試み。第28回日本オージオロジー学会, 1983, 10, 金沢。

36) 大井秀哉, 麻生 伸, 武田精一, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: ABR の骨導域値の測定の試み。第28回日本オージオロジー学会, 1983, 10, 金沢。

37) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 麻生 伸, 江塚 勇, 市川昭道: 特異な小脳橋角症候群を呈した2例について。第11回日本臨床耳科学会, 1983, 10, 松山。

38) 将積日出夫, 麻生 伸, 吉田行夫, 大井秀哉, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: Charcot-Marie-Tooth 病に内耳性難聴, 腎疾患を伴った1症例。第11回日本臨床耳科学会, 1983, 10, 松山。

39) 麻生 伸, 将積日出夫, 小林英人, 吉田行夫, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 急激に聴・平衡障害を来した小脳出血の1症例。第11回日本臨床耳科学会, 1983, 10, 松山。

40) 小林英人, 渡辺行雄, 吉田行夫, 麻生 伸, 大橋直樹, 水越鉄理: 高度の喉頭偏位をきたした下咽頭嚢腫の1例。第35回日本気管食道科学会, 1983, 10, 大阪。

41) 将積日出夫, 大橋直樹, 渡辺行雄, 麻生 伸, 水越鉄理, 麓 耕平, 坂本 隆, 藤巻雅夫, 肥田高嶺, 若木邦彦: 食道癌に重複した喉頭悪性線維性組織球腫の1例。第35回日本気管食道科学会, 1983, 11, 大阪。

42) 大橋直樹, 浅井正嗣, 上田晋介, 今村純一, 渡辺行雄, 水越鉄理, 樋口昭子, 山崎光章, 高道昭一: CO₂ レーザーの挿管チューブに対する安全性の検討。(ビデオ演題) 第35回日本気管食道科学会, 1983, 11, 大阪。

43) 水越鉄理, 小林英人, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫, 浅井正嗣, 思川泰資: 末梢性前庭機能異常例に対する視運動性前庭性動眼反射検査の意義。第45回耳鼻咽喉科臨床会総会, 1983, 9, 京都。

44) 大橋直樹, 吉田行夫, 将積日出夫, 小林英人, 麻生 伸, 渡辺行雄, 大野吉昭, 肥田高嶺: 上顎洞に発生した malignant fibrous histiocytoma の2例。第7回日本頭頸部腫瘍学会, 1983, 6, 千葉。

45) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 将積日出夫, 水越鉄理, 大野吉昭: 上顎洞末期症例に対する YAG レーザーの使用経験。第7回日本頭頸部腫瘍学会, 1983, 6, 千葉。

46) 中川 肇, 浅井正嗣, 大井秀哉, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 当科における皮膚疾患における扁桃の現状について。第23回扁桃研究会, 1983, 11, 和歌山。

47) 渡辺行雄, 大橋直樹, 今村純一, 水越鉄理: 平衡機能検査の自動分析システム。第3回日本医療情報学会, 1983, 11, 東京。

48) 大橋直樹, 武田精一, 今村純一, 渡辺行雄, 水越鉄理: マイコン制御による滑動性眼運動の分析。第3回日本医療情報学会, 1983, 11, 東京。

49) 武田精一, 麻生 伸, 大井秀哉, 今村純一, 大橋直樹, 渡辺行雄: 聴性誘発反応検査におけるパソコンの応用。第3回日本医療情報学会, 1983, 11, 東京。

50) 今村純一, 渡辺行雄: ミニコンとマイコンを接続したマルチ・タスクによる検査管理システム。第3回日本医療情報学会, 1983, 11, 東京。

51) 武田精一, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: Schellong's test の自動測定システム。第22回日本 ME 学会, 1983, 4, 大阪。

52) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 沢 昌代: Galvanic Body Sway Test による末梢中枢前庭系障害の鑑別。第11回水俣病総合研究会, 1983, 2, 東京。

53) 渡辺 勉, 大久保 仁, 池田元久, 水越鉄理, 渡辺行雄: 前庭機能異常調査研究班疫学分科会報告。個人調査票集計を中心に一。厚生省前庭機能異常調査研究班昭和57年度総会, 1983, 2, 京都。

54) 水越鉄理, 将積日出夫, 浅井正嗣, 大井秀哉, 渡辺行雄, 大橋直樹: 富山県におけるメニエール病患者の疫学調査。厚生省前庭機能異常調査研究会昭和57年度総会, 1983, 2, 京都。

55) 渡辺行雄, 水越鉄理, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 将積日出夫, 沢 昌代: Galvanic Body Sway Test による前庭機能異常例の検討。厚生省前庭機能異常調査研究班昭和57年度総会, 1983, 2, 京都。

56) 水越鉄理, 小林英人, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫, 浅井正嗣: 前庭機能異常症例にみられた視運動性前庭性動眼反射の異常。厚生省前庭異常調査研究班昭和57年度総会, 1983, 2, 京都。

57) 大井秀哉, 麻生 伸, 吉田行夫, 水越鉄理, 北川和久, 吉川静三, 豊田 務, 大狭星夫: 耳鳴に

対する Methycobal ($\text{CH}_3\text{-B}_{12}$) の治療効果について。第2回耳鳴研究会, 1983, 7, 東京。

58) 大橋直樹, 吉田行夫, 将積日出夫, 小林英人, 麻生 伸, 水越鉄理, 肥田高嶺: 上顎洞に発生した malignant fibrous histiocytoma の2例。第2回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1983, 7, 金沢。

59) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 将積日出夫, 水越鉄理, 大野吉昭: 上顎腫瘍末期症例に対する YAG レーザーの使用経験。第2回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1983, 2, 金沢。

60) 渡辺行雄, 水越鉄理: 重心動揺記録の X-Y 軸成分の波形分析による諸パラメータの検討。第2回重心動揺検査研究会, 1983, 8, 東京。

61) 麻生 伸: 顔面神経麻痺, 部位診断と予後について。昭和58年度第1回富山県麻酔科医会, 1983, 6, 富山。

62) 小林英人, 長崎孝敏, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理, 青柳 優, 鈴木八郎, 小池吉郎: 末梢性顔面神経麻痺におけるメチコパールの臨床効果。全国メチコパール研究会, 1983, 10, 東京。

63) 渡辺行雄, 大橋直樹, 今村純一, 水越鉄理: メニエール病疫学調査集計および平衡機能検査登録の経験。第7回日本 ME 学会病歴データベース研究会, 1983, 12, 新潟。

64) 大橋直樹: マイクロコンピュータによる滑動性眼運動の分析。第6回耳鼻コンピューター講習会, 1983, 3, 大阪。

65) 大井秀哉: 耳鳴に対する Methycobal ($\text{CH}_3\text{-B}_{12}$) の治療効果について (多施設)。第2回北陸メチコパール研究会, 1983, 9, 金沢。

66) 水越鉄理: めまいの診断と治療—神経耳科医よりみた—。砺波市医師会学術講演会, 1983, 9, 砺波。

67) 水越鉄理: 職業性難聴。昭和58年度第2回富山県産業保健研修会, 1983, 10, 富山。

助 手 梅 田 慶 一
助 手 風 間 泰 蔵
助 手 古 田 秀 勝

◆ 著 書

1) 片山 喬: 精液に血がまじる。「泌尿器科診療」町田豊平他編, 312-313, 六法出版, 1983。

2) 片山 喬: 重複腎盂・尿管の診断・合併症。「泌尿器科診療」町田豊平他編, 680-681, 六法出版, 1983。

3) 中田瑛浩: 泌尿器科学的損傷。「国試からみた泌尿器科学」北川龍一, 松本 泰編, 78-85, 中外医学社, 1983。

4) 中田瑛浩: 内分泌疾患。「国試からみた泌尿器科学」北川龍一, 松本 泰編, 170-181, 中外医学社, 1983。

5) Nakada T. und Lovenberg W.: Clonidin bei vaskulärer hypertrophie, In zentrale blutdruck Regulation durch Alpha2-Rezeptoren Stimulation, by Hayduk K. und Bock K. D. (Ed.), 164-172, Steinkopff Verlag, Darmstadt, West Germany, 1983。

6) Nakada T., Saito H., Ota K., Saefusa T., Chikenji M., Matsushita N., Yamori Y. and Lovenberg W.: The effect of hyperbaric oxygenation on vascular protein of stroke-prone and-resistant spontaneously hypertensive rats, In Hyperbaric Medicine, by S. N. Yafuni (Ed.), vol. 2, 5-7, Nauka, Moscow, 1983。

7) Nakada T. and Lovenberg W.: Vascular hypertrophy, In central blood pressure regulation, by Hayduk K. and Bock K. D. (Ed.), 161-169 Steinkopff Verlag, Darmstadt, West Germany, 1983。

◆ 原 著

1) Nakada T., Akiya T., Katayama T. and Fukase M.: Renal failure caused by retroperitoneal involvement of Hodgkin's disease of the lymphocyte-depletion type. Int. Urol. Nephrol. 14: 373-379, 1983。

2) Nakada T., Yoshikawa M., Ishikawa S., Akiya T., Yanagi S., Katayama T., Nishino A., Takata M. And Wakaki K.: Coexistence of hyperplasia of juxtaglomerular cells and renomedullary interstitial cell after acute occlusion of renal artery. Urol. Int. 38: 78-83, 1983。

泌 尿 器 科 学

教 授 片 山 喬
助 教 授 中 田 瑛 浩
講 師 秋 谷 徹
講 師 柳 重 行
助 手 嘉 川 宗 秀
助 手 石 川 成 明
助 手 小 池 宏
助 手 寺 田 為 義